

# 当面の技術対策（畜産編）

平成23年6月1日

発行：ゆとりみらい21推進協議会 指導部会 幕別町忠類地区

## 1 乳牛飼養管理

- 1) 6月に入り気温が上昇し、病原菌が繁殖しやすくなります。また暑熱ストレスにより、病気に感染しやすくなります。飼槽・水槽の清掃を強化すると共に、牛舎出入り口の消毒槽設置、作業靴等の消毒を徹底し、衛生状態向上に努めましょう。
- 2) 粗飼料調製作業が始まり、牛舎作業人数の減少等、日常作業が忙しくなります。朝・夕の個体観察を強化し、発情発見率の低下を防止しましょう。生乳への抗生物質混入事故防止に向け、治療牛の確認作業を徹底しましょう。
- 3) 乳牛の体力低下防止に向け、乳成分・MUN・ボディコンディション等を参考に、飼料摂取量の不足（乾物摂取量の低下）に注意しましょう。

## 2 飼料作物

### 1) 牧草

適期（出穂始～出穂期）収穫を心掛けましょう。

スタックシート・ラップフィルム等資材の手配、作業機械の整備（ハーベスタの受け刃調整を忘れずに）等を行いましょう。

バンカーサイロの清掃、スタックサイロ設置土場の整備等の段取りをしておきましょう。

サイレージ調製においては、詰め込み時に周辺の土砂やたい肥等が混入すると不良発酵の原因になります。施設周辺、ほ場取り付け道路等のダンプ通路の環境についても整備しておきましょう。

### 2) サイレージ用とうもろこし

雑草茎葉散布は表1の要領を守って、タイミングを逃さず実施しましょう。

表1 サイレージ用とうもろこしの除草剤

処理	除草剤名	使用時期	10a当り 使用量	主な対象 雑草	主な注意事項
雑草茎葉散布	ゲザノン フロアブル	雑草茎葉散布 作物2～4葉期	200～ 300ml	1年生雑草 全般	使用回数は全面土壌散布又は雑草茎葉散布のいずれか1回
	ゲザプリム フロアブル		100～ 200ml	広葉雑草	ゲザプリム：雑草発生前から雑草揃期に散布すると最も効果がよい
	ワンホープ 乳剤	雑草茎葉散布 作物3～5葉期	100～ 150ml	イネ科雑草 及び 1年生雑草	使用回数は1回 品種により薬害が生じる恐れがある 使用後はスプレーヤの洗浄を十分に行う

不明な点のある除草剤を使用する場合には、農協または普及センターにお問い合わせ下さい。  
上記除草剤はすべて混用しないようにして下さい（薬害の可能性あります）。

## 農作業安全、生産履歴記帳を忘れずに

長時間作業する場合は、2時間に20分程度は休みましょう

治療薬、抗生物質を使用した場合、個体牛のマーキング、記帳を忘れずに